



2020年 海上練習会実施手引き

作成 2020年2月16日

本部船: _____ (予定) (TYCフラッグ掲揚)

1. 9:00艇長会議(アトリウム)

提出:参加者名簿と引き換えに、「連絡票」を受領。

艇長会議に参加できない艇は、事前に参加者名簿を提出すること。

2. 海上エントリー

今回は海上エントリーを行いません。

3. 練習手順

(2回～3回程度のスタート練習/2回目の途中で落水者発生連絡)

- ① 艇長会議後、準備出来次第各艇出航
- ② 10時半～12時頃までの間に2回～3回程度のスタート練習
- ③ 各艇とも1回目の練習でフィニッシュしたら、落水を想定して下記の手順で海上本部に連絡訓練を実施する
 - ・ 帆走中に落水者発生を想定(状況は後述を想定)
 - ・ 何を連絡したらいいのかを考えて連絡…これ自体が訓練です。
 - ・ VHFもしくは電話で本部船に連絡 (なお、VHFで連絡する時は、その冒頭に『これは連絡訓練です』を2回繰り返してから連絡すること)
- ④ 1時頃帰港 解装

4. スタートに関する注意

スタート時間は決まっていません。10時半以降で準備が出来、艇が集まり次第になります。

第一回答旗降下後1分後に準備信号を掲揚(5分前)になります。

5. コース

基本2レグの流し込みとします。

6. 帰着申告

連絡票を返却することで帰着申告とします

7. その他

安全第一で練習をお願いします。

※練習会実施後、夢の島マリーナ TYCクラブルームにて飲物とおつまみを準備しておく予定です。

(参加艇だけです) 是非確定お昼持ち寄ってお集まりください。

※風が強い場合、練習会を実施せず、模擬通信訓練だけとする場合があります。

【今回の想定事故】

- ワイルドジャイブで落水 引上げたが意識なし

上記事故を前提に連絡訓練をすること(連絡内容を考えることも訓練です)